

「SDGs」 って何？

SDGsについて知ろう
SDGsにはどんな目標があるの？
わたしたちにできるSDGsの取り組みは？

10 SDGsを考え続けるための

BOOKS & MOVIES

12 仕事人インタビュー

土屋太鳳さん

「働く」とは
人と人の心を
つなげていくこと

14 「働く」と「暮らす」で実践

SDGsに近づくための サイトセレクション

15 4コマまんが

後輩ユニオくんOJT日誌 「持続可能な開発目標」

Think Work

「賢く生きる」ための ワークルール教育

ワークルール教育というのは、職場で生じるさまざまな課題やトラブルを上手に解決する知恵のようなものを学ぶことです。

「ブラック企業」と呼ばれるような労働関係の法律が守られない職場が広がって、特に若者の健康や生活を食いつぶして

利潤をあげていることが社会問題となっています。こうした企業が存在することは、まじめにルールを守っている企業にとつても迷惑です。それだけでなく、

日本経済にとつてもダメージであるということが認識されるようになり、自民党・公明党も含めた超党派の議員連盟が「ワークルール教育推進法」を制定しようとしています。

ところで、ワークルール教育というと、法律の条文を勉強することと思われるかもしれませんが、確かに、基本的な知識は必要ですが、もっと大事なものは、現場での交渉術や職場の仲間と話し合う技術、法律の専門家や労働組合、地域のコミュニティやメディアなど外部と連携す

るノウハウ、トラブル解決の経験談などです。料理を学ぶのに料理本を頭から読んで覚えたりしないように、法律を暗記する必要はなく、賢く生きるためのちよつとした知恵を学ぶと思えばよいのです。

私が最近開いている学習会では、実際に交渉した録音を聞いて、どうして解決できたのかを考えるなど、実例から学ぶことを重視しています。自分も交渉してみようかなと思ってもらえたら目標達成です。みなさんも面白いワークルール教育の世界をのぞいてみませんか。



弁護士
東京法律事務所
菅 俊治
(すが・しゅんじ)

1997年東京大学法学部卒業。99年司法試験合格。2001年弁護士登録。日本労働弁護団常任幹事、日弁連労働法制委員会事務局長、ワークルール教育PT座長。